

患者様へ

研究課題

～IgA 腎症の糸球体への補体・IgA サブクラス・軽鎖沈着の検討～

(倫理審査委員会承認 受付番号 19)

[研究の対象]

2015年7月1日から2017年6月30日の間に、奈良県立医科大学附属病院の循環器・腎臓・代謝内科、及び南奈良総合医療センターを含む関連病院の内科で腎生検を受け、IgA 腎症と診断された患者様。

[研究の目的]

IgA 腎症は腎炎の中では多い疾患ですが、その原因について詳細は分かっていません。IgA 腎症の糸球体には IgA の他に C3 という補体が沈着する頻度が高いことから IgA 腎症の発症には補体が関係していると言われていています。そこで IgA 腎症患者様の腎生検凍結検体を使って蛍光抗体法を行い、糸球体へどのような補体が沈着するかを調べ、また沈着する IgA と免疫グロブリン軽鎖も種類別に検討して、これらの沈着と各検査・腎生検所見との間に関連性があるかどうかを調べ、IgA 腎症の原因解明に役立てます。

[研究の方法]

年齢、性別、既往歴、家族歴、現病歴、身長、体重、血圧、血液検査、尿検査値といったカルテ情報、腎生検時に作成された光顕標本、蛍光抗体法画像、また追加の蛍光抗体法施行用として凍結切片の残余を奈良県立医科大学病理診断学講座に渡します。

[研究の開示]

本研究は本学の医の倫理審査委員会および本センターの倫理委員会で承認され学長および院長の許可を得ておりますが、厚生労働省の臨床研究に関する倫理指針の規定により、対象となる患者様お一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

[個人情報の扱い]

患者様のお名前や住所など個人を同定できる情報は使用せず、研究の発表や論文で患者様を特定できないように致します。研究対象から除外してほしいという希望のある場合は下記問い合わせ先までお申し出ください。

[研究機関名・研究責任者名]

奈良県立医科大学 病理診断学講座 伊丹 弘恵

[南奈良総合医療センターの問い合わせ先]

〒638-8551 奈良県吉野郡大淀町大字福神 8 番 1 電話：0747-54-5000

南奈良総合医療センター 糖尿病内科 藤木 健吾